

# せせらぎ



**2022年10月号**

**NO.396**

滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

## 目 次

---

1. 表紙からのメッセージ
2. 私のひとりごと
3. 10月定例山行案内【八ヶ岳】
4. 10月定例山行案内【登山祭典・日本コバ】
5. 9月定例山行報告【由良ヶ岳・大江山】
6. 8月山行記録
7. 定例会議議事録
8. お知らせ・編集後記



## 今月の予定

---

- 10月2日(日) 日本コバ下見 道の駅「奥永源寺溪流の里」7:30 集合
- 10月8日(土)~10日(祭) 八ヶ岳 (締切り済)
- 10月23日(日) 登山祭典・日本コバ (締切り 10月17日)
- 10月29日(土) 定例会議 19時~ 草津市民交流プラザ

## 表紙からのメッセージ

---

### 天狗岩

私のトレーニングゲレンデは金勝です、チャリで桐生へ行って、  
鶏冠山、天狗岩、白石峰、竜王山、と歩いて、耳岩から降ります、  
最近気になるのは、今まで出会っていた、私と同じ徘徊老人に会わな  
かったことです、数を誇った団塊世代も落ち目かも、

【W 壁】

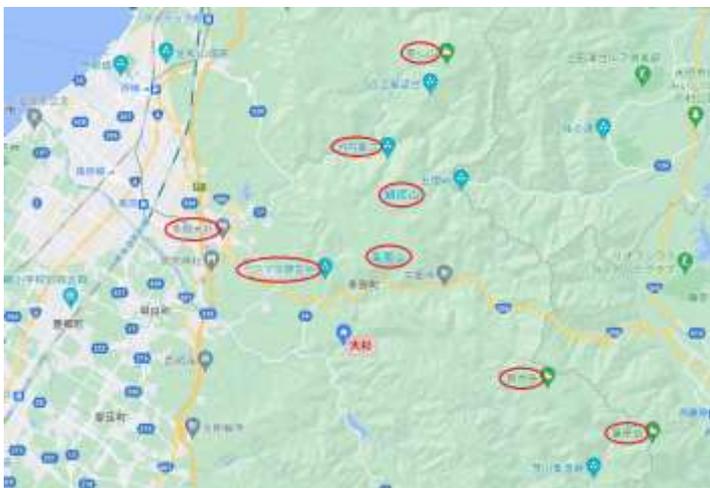
私は、御池岳の麓、鈴鹿山脈の山間部（犬上郡多賀町大杉）に住んでいます。私のこどものころ（1960年ごろ）は私の記憶で47戸があったのですが、現在は半分以下の20戸です。村の中にはあちこちに空き家が散在しています。

元々は林業を生業とする地域だったのですが、高度経済成長とともに林業では生活が立ちゆかなくなり若者は次々と町へ流出していきました。今、残っている20戸のうち16戸は65歳以上の高齢者世帯です。こどもは、小学生の兄妹が2人だけです。

このままでは20年後、30年後には、霊仙山登山口の『落合』や『今畑』のように廃村になってしまうか、『ポツンと一軒家』になってしまうのが目に見えています。なんとか人口減を食い止めようと空き家を利用して『緑の協力隊員』や『地域おこし協力隊員』が来てくれたこともありましたが、一時的なものでした。

限界集落の課題は、車に乗れなくなると日常の買い物や通院に支障をきたすこと、お寺や神社、地域の組織や行事が支えきれなくなること、などです。以前河瀬駅から出ていた定期バス路線は、3年前廃線になりました。

私自信も例外ではなくこどものころはこの『ど田舎』が嫌で、外の世界に憧れ18歳から10年間村を離れましたが、その後再び実家に戻ってきました。定年退職し67歳になった今は、この村が自然豊かで人間関係もよく静かで落ち着いて心地よいと思っています。私の命とこの村がいつまで続くのかわかりませんが、私はこの村で骨を埋める覚悟で暮らしています。



**例会山行案内**

八ヶ岳縦走（権現岳～赤岳～天狗岳）

CL：K村 SL：参加者から

2泊3日、小屋泊りで八ヶ岳の権現岳から天狗岳に向けて縦走します。

前半は岩の多いコースです。

集合：10月8日（土）野洲駅 6：10

日程：コースタイムは昭文社地図の2割増し

10月8日（土） 野洲駅6：10＝（車または電車）＝JR小淵沢駅11時頃＝  
（タクシー）＝観音平11：30頃～（余裕があれば編笠山経由）～  
青年小屋（泊）15：00頃  
（歩行時間3：30程度）

10月9日（日） 青年小屋6：30発～権現岳～キレット小屋～赤岳～横岳～  
硫黄岳山荘（泊）14：20頃  
（歩行時間7：50程度）

10月10日（月・祝） 硫黄岳山荘6：30発～根石岳～東天狗岳～西天狗岳～唐沢鉱泉～  
渋の湯バス停13：30頃＝（バス）＝茅野駅＝（JR※）＝JR小淵沢16時頃＝  
（車）＝野洲22時頃  
※電車の場合は茅野駅から直接野洲へ  
（歩行時間7：00程度）

コースの難易度・体力度：「信州山のグレーディング」（A～E）では、キレット小屋～赤岳が「D」、青年小屋～キレット小屋、赤岳～硫黄岳が「C」、その他は「B」です。

体力度は6です。

「信州山のグレーディング」の表を添付しますので、難易度「D」、体力度「6」がどの程度なのか確認ください。あくまでも目安ですが。

共同装備：補助ロープ、ガス、コンロ、コッフェル、（本来個人装備ですが）ツェルト

個人装備：通常の日帰り装備の他、カラビナ、シュリング、ヘルメット

申込：K村まで

締め切り：9月15日（木） ※小屋の予約の都合上、早くしています。

※ 車提供可能な方は申込時にご連絡ください。車が足りない場合は電車と併用します。

問い合わせ：K村 メールまたは電話

（参考）同じコースではないですが、岳友会のブログに記事があります。

<https://konan-gakuyukai.com/record-blog/archives/592>

<https://konan-gakuyukai.com/record-blog/archives/303>

## 第60回登山祭典

### 日本コバ 936.2 ㍎

呼称が何とも雄大である「日本コバ」は南北に連なる鈴鹿山系にあって西に大きく張り出している、山頂部は平ら見えるが、頂上には三等三角点が置かれている。今回は藤川谷コースを登り政所へ下山する周回コースで実施する、「公開登山」なので一般の方々の参加も歓迎します、知人、友人に呼びかけて参加下さい。

**実 施 日**：2022年10月23日（日）

雨天などの荒天で中止の場合のみ10/22（土）午後7:00までにEメールか電話連絡します。

**集合場所&時間**：道の駅「奥永源寺溪流の里」7：30 登山者駐車場に止めてください

**サブ集合場所**：野洲駅6：10→竜王コンビニ6：30→道の駅「奥永源寺溪流の里」  
交通費は岳友会の規定により実費を頂きます。

**参加費**：一般の方 ¥100円（保険代金） 労山会員 無料

**定 員**：一般の方10名+労山会員

**登山コース**：道の駅→如来堂→虎の穴→狐の穴→分岐→日本コバ山頂→分岐→衣掛山→林道分岐→道標「政所」→政所→道の駅

**持ち物・個人**：登山の出来る服装、登山靴、手袋、雨具、防寒具、ヘッドライト、昼食 行動食、お飲み物（少し多めに）

**申し込み**：10月17日までに「M田」「S井」の両名に申し込み下さい。  
集合場所と車を出せる方はその旨ご連絡ください。



‘20年6月の軌跡

## 定例山行報告

# 由良ヶ岳・大江山

CL W壁

SL M田

■日時 2022年9月3日(土)~4日(日) 両日とも山では晴れ

■参加者 8名

■行程

### 9月3日(土)

07:00 南草津駅集合 2台に分乗して出発

09:00 「宮津由良駅コース」登山口

湿度が高く 登るにつれ汗が滝の

ように流れます 双耳峰 まずは西峰に行きましょう。

11:10 西峰 640m 一旦分岐に戻ります

12:00 東峰 585m

13:30 下山し 食料買いだし中に激しい雷雨 わぁ～良かったね！

山荘着 2棟を使ってのお泊り準備です

今夜は豪華バーベキュー それぞれに陣取ってそれぞれに楽しみました。



## 9月4日(日)

気持ちのいい朝を迎え 外でコーヒーをいただき 皆で朝食「いただきま〜す」

08:20 登山口まで車で行けるけど 足慣らしに林道を歩きましょう でも 結構あるね

09:00 鬼獄稲神社登山口 赤石ヶ岳から大江山(仙丈ヶ嶽)を越え赤岩山までの16ヶ所を  
「赤赤トレイル」と呼びます 今日はその一端を歩きます

09:45 大江山832m ここまでは順調です

分岐に戻り尾根道を進むと 目の前に急登が! う〜ん。。

11:15 ようやく赤石ヶ岳736m山頂 さて周回して下りましょう

13:30 酒呑童子供養塔をかすめて 何とか鬼獄稲荷神社に着地

14:10 山荘着 お世話になった山荘を片づけ ありがとう!

18:00 南草津駅 解散



## <一口感想>

山荘のオーナー夫妻の心尽くしのおもてなしのお陰で、おいしい食事に楽しいおしゃべりが出来ました。ありがとうございました。ややこしい空模様でしたが山行中には降られることもなかったのはラッキーそのもの。私は相変わらず自分に正直「頑張らない山登り実践」で終始スローペース、皆さんに気を揉ませたと思います。少しトレーニングをして次回に備えたいと思います。参考迄に、累積標高差は由良ヶ岳は約 740m、大江山・赤石岳は約 690m。暑さもあって山荘から鬼嶽稻荷神社までの車道歩きが結構堪えました。次回は是非、稻荷神社近くからのスタートにされると、余裕をもって登れると思います。

(ピークでケーナーで一曲をたのしむ)

【K 枝】

行き先を知った時、行きたいと思った。小説「山椒大夫」の舞台になった由良川辺り。由良が岳から望むと遠く雄大な由良川が若狭湾に入り込み、天の橋立が霞んで見える。丹後の山々はどれも低山で奥ゆかしい。山道は風情ある松風草がゆらめく心を癒してくれる。翌日は鬼伝説のある大江山、千丈ヶ岳。急階段が続き、ダイトレを思い出す。広い山頂からは、動く雲の遠くに、次回例会登山の青葉山がある。又、逆にこちらを眺めたい。楽々と思っていたら、次はど〜んと前にある赤石岳、厳しい急登の岩山が待っていた。喘ぎながら振り返ると、雨飾山のピーナスを思い出した。美しい！ こちらの山道は、ベニ花ボロ菊のワタスゲが励ましてくれた。二日間、岳友会の方々との山行、夜は延々と続く山のお話。気兼ねなく過ごせるのがいい。私は二階の来賓室にお布団で休みました。申しわけない。

会員様の大江山の山小屋泊、風呂、マキ燃料、火起こし、外の風格あるテーブル、川の水、サバイバル＝人間力を味わいました。すっかり会のペースに慣れてしまってもう一泊したかった。メロンの赤ワインを傾けながら、多くのジャンルがあるCDを聴きたかったなあ。

私を快く受け入れてくださった皆様ありがとうございました。心に残る二日間でした。



【滋賀山友会・A 女史】



2022年8月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
8/1	金勝アルプス		2		
8/8	比叡山		1		
8/9 ~ 8/10	乗鞍岳(岐阜県・長野県)		1		○
8/22 ~ 8/23	北アルプス・朝日岳		1	1	
8/22 ~ 8/23	白馬大池～白馬岳		2		○

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、  
 実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。